

授業科目	*キリスト教学(新約聖書)				単位	2		
履修	必修	関連資格	保育士		ナンバリング	WE10102J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1			
担当教員	永町 友恵							
授業概要	西南女学院の建学の精神、「感恩奉仕」は、キリスト教、つまり聖書に基盤を置いています。また近代文明の基礎を作った西欧文明は、聖書の思想を基にしております。そのように聖書は世界の文化や科学技術に大きな影響を与えました。実は聖書は日本のベストセラーでもあります。授業では実際に聖書を読んで、聖書の内容に触れていきます。その聖書の手引きとして、早わかり聖書ガイドブックも併せて用います。また聖書を通して、神とは何か、人とは何か、そして自分とは何者かを考え、自分の生きる目的を探りましょう。そして人と人との関係についても考えることができますのです。福祉、音楽、絵画、文学などにも聖書とのつながりがあります。この学びを通して単なる講義ではなく、私たちの生き方に関わる聖書の真理について、共に考えていきましょう。							
学生が達成すべき行動目標	1.聖書を読む。 2.疑問や問いを持つ。 3.自分自身(福祉)に関わることとして、考える。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	9	60	26	14	5	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	9	60	26	14	5	0	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
予習として、毎回の聖書箇所、テキストの該当部分を読み、自分なりの感想、疑問をもつ。また、わからない言葉などがあつたら、自分で調べておく。福祉という視点から聖書を読み探る。復習として、聖書をもう一度読み、理解を深める。チャペルの感想を提出する。最後の講義で聖書に関してのことを個人あるいはグループで発表する。				予習として、毎回の聖書箇所、テキストの該当部分を読み、自分なりの感想、疑問を持つ。復習として、聖書をもう一度読む。レポートの提出期日を守る。チャペルの感想を提出する。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	新約聖書について全体を見る。聖書の読み方の説明を聞く。	講義	新約聖書を全体に目を通す。目次を見ておく。	30
2	イエス・キリストの誕生	講義	ルカ1章26～38節、2章1～38節を読む。	30
3	イエス・キリストの公生涯Ⅰ(生まれ故郷と伝説、宣教の開始と十二弟子)	講義	ルカ3章21～4章14節、6章12～16節を読む。	30
4	イエス・キリストの公生涯Ⅱ(主の祈り)・キリスト教の祈りについて	講義	マタイ6章5～15節、ルカ11章1～13節を読む。	30
5	イエス・キリストの公生涯Ⅲ(山上の垂訓)	講義	マタイ5章1～7章29節を読む。	30
6	イエス・キリストの公生涯Ⅳ(いやし・しるし)	講義	マタイ8章1～9章8節、9章18～34節、14章13～36節、17章1～8節を読む。	30
7	イエス・キリストの公生涯Ⅴ(人々との出会いと伝道)	講義	ヨハネ4章1～42節、5章1～18節、マルコ2章1～12節、ルカ5章27～32節を読む。	30
8	イエスキリストの十字架(ビデオあり)	講義	ヨハネ12章1～11節、マタイ21章1～32節、26章1～27章66節を読む。	30
9	イエスキリストの復活と昇天(ビデオあり)	講義	マタイ28章1～20節、ヨハネ20章19節～21章25節、使徒言行録1章1～11節	30
10	使徒たちの活動	講義	使徒言行録1章1～2章47節、6章1～15節を読む。	30
11	パウロの活動	講義	使徒行伝9章1～20節、13章1～12節、15章1～21節、16章6～15節、25章1～12節を読む。	30
12	ヨハネの黙示録	講義	ヨハネの黙示録1章1～19節、20章1～22章21節を読む。	30
13	新約聖書の女性たち	講義	イエスの母マリア(ルカ1章26～56節)、イエスの女弟子たち(ルカ8章1～3節)、イエスの十字架と復活時の女たち(ルカ23章25～49節&24章1～12節)を読む。	30
14	教会の歴史	講義	初代教会から西南女学院、そして現代の教会	30
15	クラス発表・講義予備	クラス発表・講義	個人、あるいはグループ発表。発表者がいない場合は、聖書で関心があるところを学ぶ。	30
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	聖書に親しむことと。聖書やテキストの言葉・用語の意味を確認する。			
テキスト	聖書			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>聖書を通して「神っているの？私の生きる目的って何？」の回答が見つかるかもしれません。聖書は西欧文化の根幹の一つであり、聖書を学ぶことによって、その理解にもつながります。</p> <p>また科学や人間(私)を学ぶ時に、これが自然に生まれたものではなく、神の作品だと知ることによって感動が生まれます。隣人愛は聖書が教える最も偉大な教えの一つです。</p> <p>私の祖父は仏教の僧侶であり、大学はアメリカで物理学を専攻し卒業いたしました。そのような者にとっても聖書は真理を語り私の人生を導く光だと確信しております。</p> <p>また西南女学院のチャペルや、紹介している近くのキリスト教会の礼拝やクリスマスの集会などに参加する機会を生かして今まで知らなかった世界をぜひ体験してください。</p> <p>聖書はおもしろいよ!!!</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>クラスレポート 4点 X15回 = 合計 60点、チャペルレポート 2点 X13回 = 合計 26点、試験は9点。(細かいところは講義で説明します。)合計 100点。この授業を通して聖書とチャペルに親しんでほしい。西欧文明の基本であるキリスト教にふれ、教会を知ってほしい。それが分かるようになれば必ず良い結果となります。</p>			

